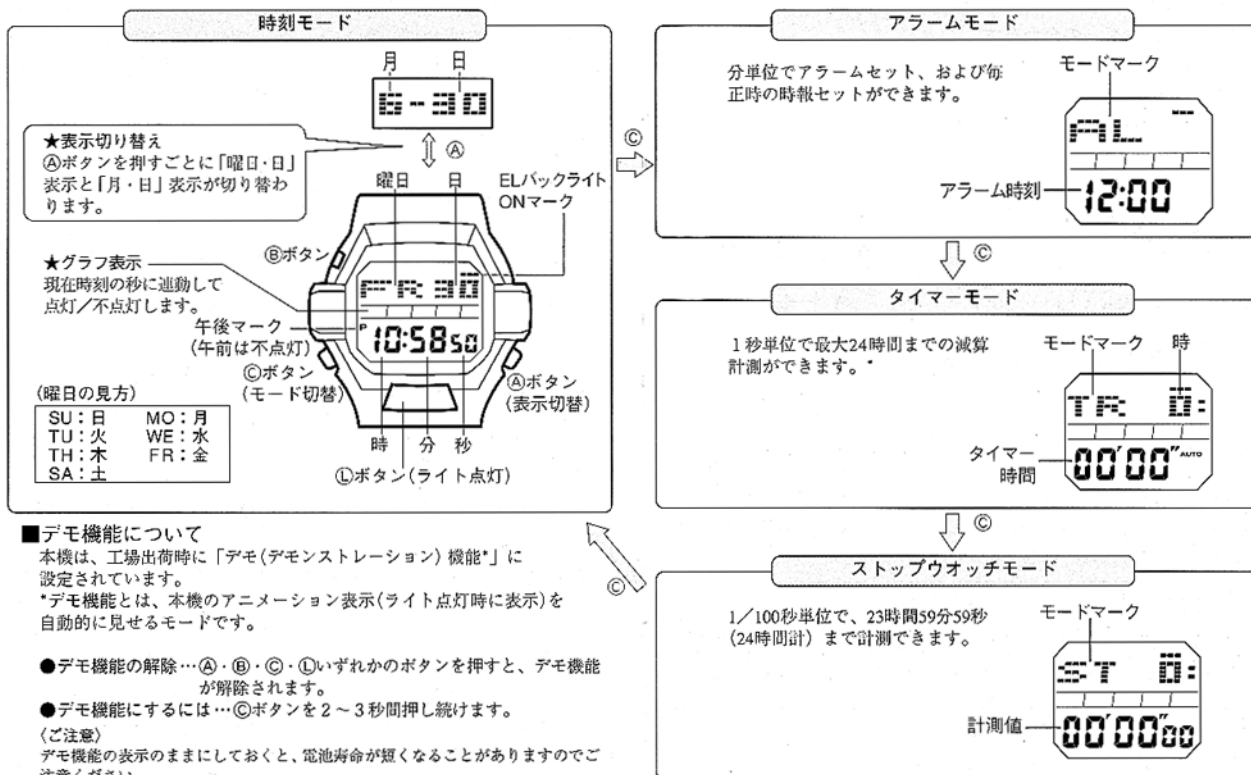


印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方 ③ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。



■デモ機能について

本機は、工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能」に設定されています。
*デモ機能とは、本機のアニメーション表示(ライト点灯時に表示)を自動的に見せるモードです。

- デモ機能の解除...①・②・③・④いずれかのボタンを押すと、デモ機能が解除されます。
- デモ機能にするには...③ボタンを2~3秒間押し続けます。

〈ご注意〉
デモ機能の表示のままにしておくと、電池寿命が短くなることがありますのでご注意ください。

ライト点灯について

どの表示のときでも、④ボタンを1回押すと、文字板が約3秒間発光し、アニメーション表示*が動きます。

※発光中にもう一度④ボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。

●ELバックライトの自動発光

表示右上に"---"が点灯しているときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。("---"は、時刻モードのとき、④ボタンを2~3秒間押し続けるごとに点灯/不点灯します)
※本機では、アラーム、時報報音時、およびタイマーのタイムアップ時に電子音が報音(文字板が発光)します。

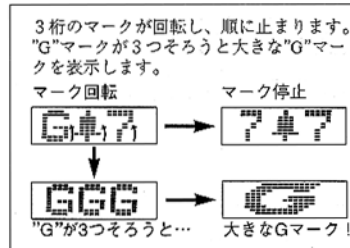
〈注意事項〉

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためにELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

アニメーション表示



*アニメーション表示について
文字板が発光している間、アニメーション表示が動きます。
※④ボタンを押すタイミングによって表示される内容が異なります。
※発光が終わると、通常表示に戻ります。



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで

時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの修正

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻モードのとき、

ⓑ ボタンを押します

→ 「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、

Ⓐ ボタンを押します

→ 「00秒」からスタートします。



「00秒」になる

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス117番」が便利です。

(3) 秒セット後は、

ⓑ ボタンを押します

→ 点滅が止まります。



※秒セットのまま2~3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、

ⓑ ボタンを押します

→ 「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

ⓒ ボタンを押します

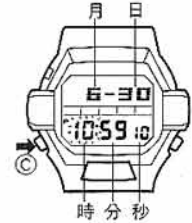
ⓒボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動します。



(3) 点滅箇所のセット

Ⓐ ボタンを押します

Ⓐボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。



時 分 秒



(進む)

上記(2)~(3)の操作をくりかえして、時刻・カレンダーを合わせます。
 ※「時」セットのとき、午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。
 ※「年」は、1995~2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年、および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが終わりましたら、

ⓑ ボタンを押します

→ 点滅が止まります。

※時刻・カレンダーセットのまま、2~3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

アラームの使い方

操作のしくみにしたがってⓒボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。
 ※表示右上に「'''」が点灯しているときは、アラーム・時報の報音に合わせて文字板が光ります。

■アラーム・時報を鳴らすには

(1) アラームモードのとき、

Ⓐ ボタンを押します



アラーム
マーク
時報マーク

Ⓐボタンを押すごとに以下の順でアラームおよび時報のON/OFFが切り替わります。

※アラーム時刻セット操作をすると、自動的にアラームON('''点灯)となります。



アラーム 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る

時報 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る

■鳴っている電子音を止めるには

アラーム音が鳴っているときに、Ⓐ・ⓑ・ⓒ・ⓓいずれかのボタンを押します。

■アラーム時刻をセットする

(1) アラームモードのとき、

ⓑ ボタンを押します

→ アラーム時刻の「時」が点滅します。
 ※このとき「'''」マークが点灯します。



時

(2) セット箇所を選ぶ

ⓒ ボタンを押します

ⓒボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時」と「分」を移動します。



分

(3) 点滅箇所のセット

Ⓐ ボタンを押します

Ⓐボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。



(進む)

上記(2)~(3)の操作をくりかえして、アラーム時刻を合わせます。
 ※「時」セットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。
 ※時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セットが終わりましたら、

ⓑ ボタンを押します

→ 点滅が止まります。

※アラーム時刻セットのまま、2~3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

タイマーの使い方 操作のしくみにしたがってCボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは秒単位で24時間までセットでき、秒単位で減算計測を行います。セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。※表示右上に“---”が点灯しているときは、タイムアップの報音に合わせて文字板が光ります。

■減算計測のしかた (タイマーの使い方)

タイマーモードのとき、

Aボタンを押します

Aボタンを押すと、1秒単位で減算計測を開始します。

●計測を一時的に中断するには、Aボタンを押します。もう一度Aボタンを押すと、その時点から計測を再開します。

●計測を中断し、計測前の表示に戻すには、Bボタンを押します。(計測リセット)

★残り時間が0になると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。ただし、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

■リピート計測/オートリピート計測

本機のタイマーは2種類あり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。(「タイマー時間をセットする」参照)

●リピートタイマー (繰り返し計測)

タイムアップになると計測が止まり、タイマー時間を表示します。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) “AUTO” 点灯

タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行います。

■鳴っている電子音を止めるには

タイムアップの電子音が鳴っているときに、A・B・C・Dいずれかのボタンを押します。

■タイマー時間をセットする

(1) タイマーモードのとき、

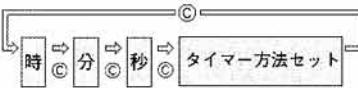
Bボタンを押します

→タイマー時間の「時」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

Cボタンを押します

Cボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

Aボタンを押します

★「時」「分」「秒」セットのときAボタンを押すごとに数字が1ずつ進みます。※押し続けると早く進みます。

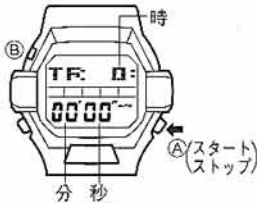
★タイマー方法セットのときAボタンを押すごとに“ON/OFF”表示が切り替わります。(右図)

※オートリピートタイマーにするときは“ON”、リピートタイマーにするときは“OFF”を選びます。

(4) セットが終わりましたら、

Bボタンを押します → 点滅が止まります。

※タイマー時間セットのまま2~3分ボタン操作を行わないと自動的に点滅が止まります。



ストップウォッチの使い方 操作のしくみにしたがってCボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

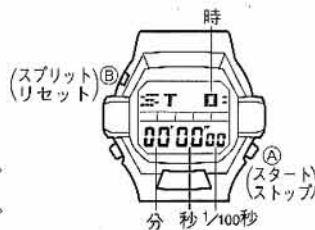
ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99 (24時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

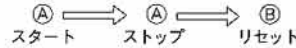
Aボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

計測中にBボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※A・Bボタンともそれぞれ押すと、操作確認音が鳴ります。
※計測値を0に戻すには、ストップ後、Bボタンを押します。



●通常計測



※積算計測...ロスタイムがあるときは、ストップ後リセットせずにAボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム (途中経過時間) の計測



●1・2着同時計測

